

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス暖母 小笹		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 30日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	個別支援・集団支援に対しての個々のプログラムに合わせて支援を計画しています。	専門士が複数在籍している為、毎回話し合いを行いその子に合った支援プログラムを一緒に立てていく。
2	こどものことを十分に理解し子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。	利用児一人一人に担当を設け、その担当を中心に随時個別支援計画の内容を職員全員で話し合いをしている。	個別支援計画の更新月には必ず「事前モニタリングアンケート」を保護者に配布し、保護者のニーズや課題を事前にお伺いし、保護者と一緒にモニタリングを作成しています。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	年に2回以上親子レクリエーションを行い、また毎年夏には小笹喫茶を事業所で行い保護者や兄弟児を招待し保護者同士の交流の場を設けています。	保護者がより交流することが出来るよう、保護者同士話しが出来る場所や時間を親子レクリエーションの際設けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	定期的に行っているが基本的に土曜日等曜日が固定されている為、そもそも利用児も固定化されている。その為参加していない子が多い。	平日にも交流する時間を設けたり、またおたより等で行ったことに関して保護者が内容把握することができるようしっかりと発信していく。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	避難訓練や保護者会等の活動内容の発信力が弱い。	おたよりやSNSを活用し、保護者の活動内容理解を図る事ができるよう内容・発信の方法を検討をしていく。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	限られた空間しかなく、完全個室等がない。	その時の子ども達の状況に応じて子ども達に合った環境整備を行い、環境を合わせていく。